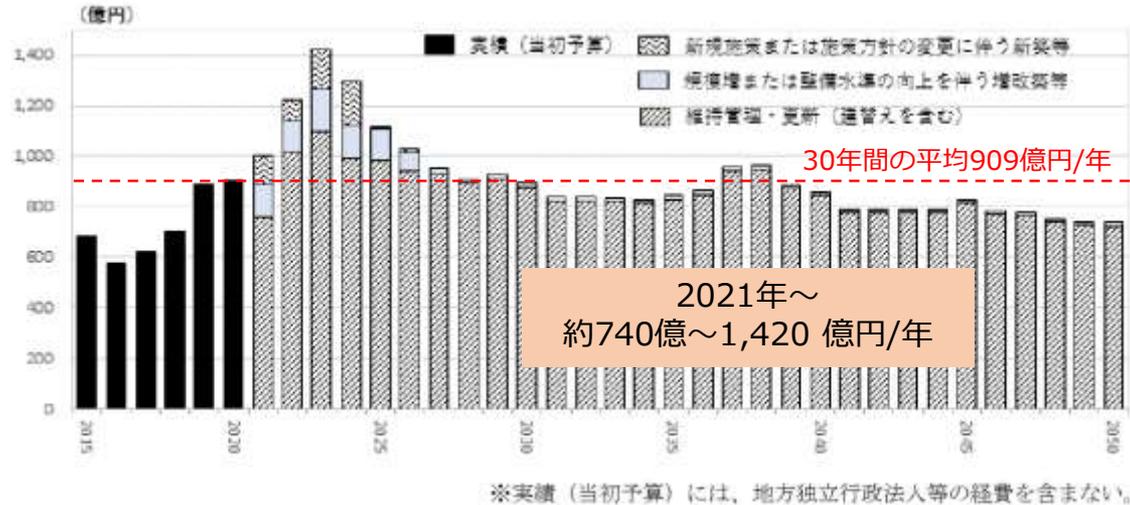


D. 社会資本の一斉老朽化への対応

動向 一斉に老朽化する公共建築物・都市インフラ施設

・大阪市においては、今後直近で、**公共建築物、都市インフラ施設とも老朽化に伴う大規模改修や更新のピークを一斉に迎える**ことが想定されており、利用者の安全面からも緊急の対応が必要となっている。

【市設建築物の中長期的な経費の見込み（一般会計分）】



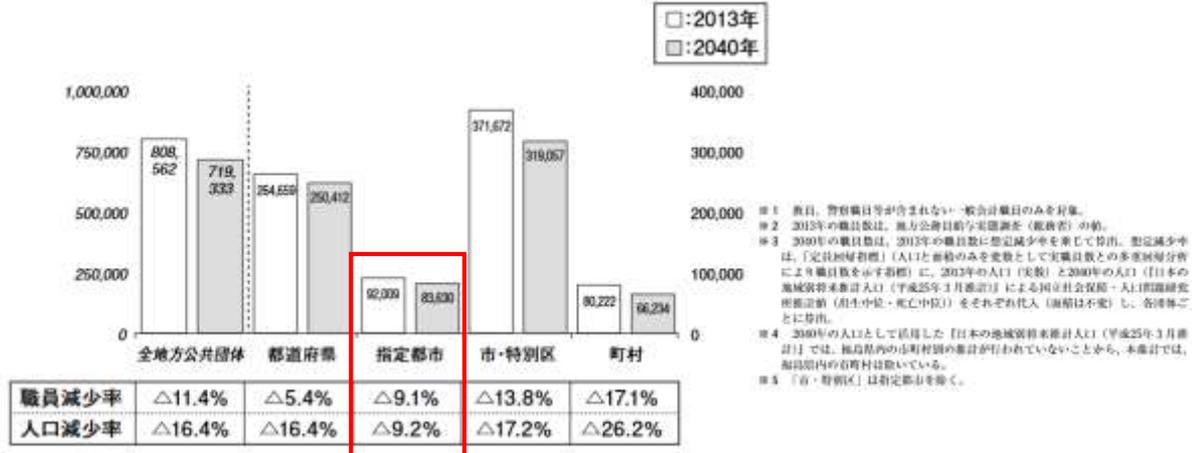
【インフラ施設の中長期的な経費の見込み（一般会計分）】



動向 都市経営資源の制約の顕在化（財源や人材の不足）

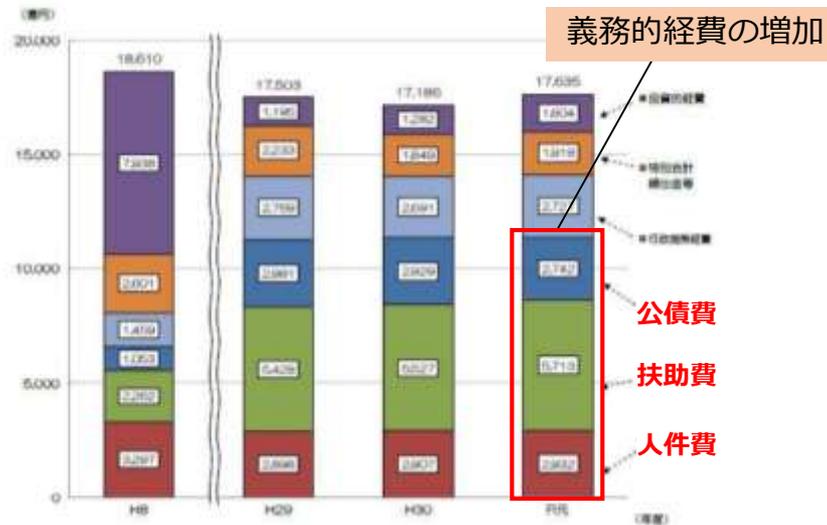
・人口減少に伴う行政職員の減少、および市財政においては義務的経費の増加に伴う財源不足がみられ、**公共施設の老朽化への対応が大きな課題**となっている。

【将来の地方公務員の総数予測（2013→2040）】



出典：総務省「将来の地方公務員制度担当者へ」

【大阪市支出の推移】

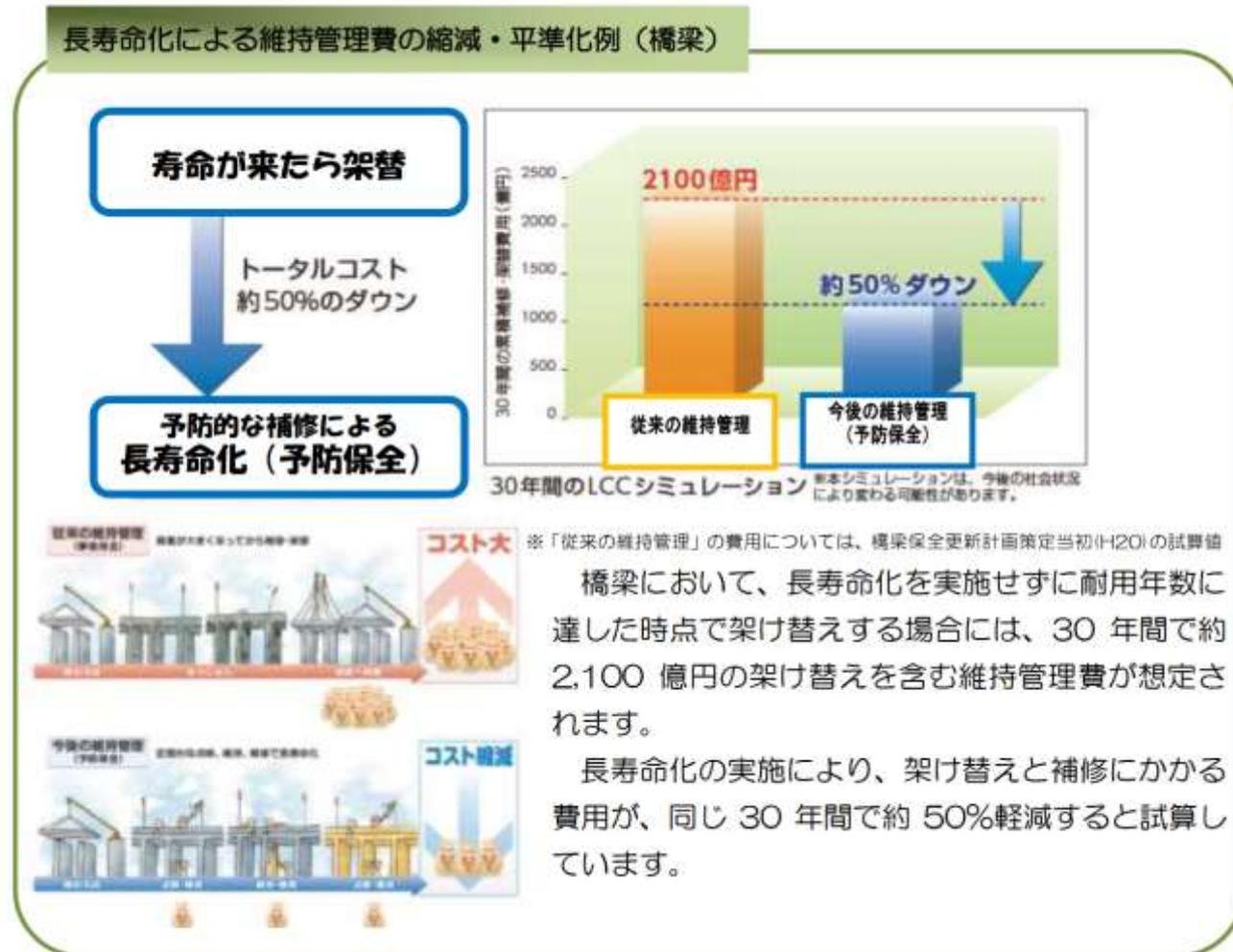


出典：大阪市財政局「財政のあらまし(R2.12)」

社会変化 インフラ施設の長寿命化の考え方の重視

・予防保全の手法を推進して適時適切な点検や修繕・更新を行う、といったインフラ施設の長寿命化が進められている。

【長寿命化による維持管理費の縮減・平準化例】



社会変化 公園のストック再編

・利用が限られる公園などについて集約・再編することで、公園の使い勝手を高めていくストック再編が進められている。

【身近な公園の再整備（「やすらぎ」の機能に特化した公園再整備：札幌市 藻岩ころころ公園）】



■機能が重複
(どこも同じような整備)

■機能を分担

似通った遊具が置かれた狭小公園が密集して存在している地域が多かったことから、周辺の複数の公園を一体的に考え、機能をそれぞれの公園で分担する考えのもと再整備を実施。



【機能特化公園の整備イメージ (全面再整備・藻岩ころころ公園・南区・338㎡)】

※「やすらぎ」機能に特化した整備

社会変化 多様な財源の活用

・市民・企業からの寄附金や企業との協働による維持管理のほか、森林整備を進めるための地方財源になる**森林環境譲与税**、特定の事業のために広く財源を募る**クラウドファンディング**や**ふるさと納税**、また債券を発行し投資家から資金を集める**ソーシャルボンド・グリーンボンド**など、**公共以外から幅広く財源を募る仕組み**が広がっている。

【インフラ整備に関する資金調達の事例】

クラウドファンディング	ふるさと納税制度の活用	県民緑税の効果的活用
<p>クラウドファンディングを通じたふるさと納税により「歩道改修」を実施 (福井県鯖江市)</p>  <p>鯖江駅東口から国道8号線へと続く道路の歩道整備事業に併せ、「メカネ」を感じられるよう、修景費用を市が寄付型クラウドファンディングで募集。事業費の一部770万円を集める。</p>	<p>貴重な植物が生育する吉賀池湿地に木道の整備費をふるさと納税で実施 (愛知県尾張旭市)</p>  <p>より多くの方に、快適に見学していただくために、吉賀池湿地の木道を整備、維持管理するための費用をまちづくり応援寄付金（ふるさと納税）として募った。事業費30万円（修繕1回あたり）</p>	<p>森林環境の保全・整備・維持だけでなく、都市部の緑化事業に県民税を活用 (兵庫県)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■対象事業（都市緑化分のみ） 【県民まちなみ緑化事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①一般緑化 ②校園庭・ひろばの芝生化 ③駐車場の芝生化 ④建築物の屋上緑化・壁面緑化 ⑤大規模都心緑化 </div> <p>一般的な県民緑税は、森林環境・水源環境等の対策を目的としているが、兵庫県では、全国で初めて都市緑化事業への活用を事業対象とした。</p>

出典：グリーンインフラストラクチャー～人と自然環境のより良い関係を目指して～（国土交通省 総合政策局 環境政策課）

【企業との協働による公園の維持管理運営の事例（千葉市豊砂公園）】

企業と協働でパークマネジメント

豊砂公園（千葉市）は、暮強新都心の魅力向上と活性化、賑わい創出のため、公園の維持管理・運営を自己資金のみで実施する企業を募集し、選定された者とパークマネジメント協定を締結。

○事業者となった公園に隣接するショッピングセンターが、市と連携しながら大規模遊具の設置や地域活性化イベントを企画することで集客性が向上し、地域活性化に貢献。

【効果】賑わいある空間を効率的に創出

383,000人

46,800人

29,400人

【効果】賑わいある空間を効率的に創出

事業者による遊具店・施設活用した大規模イベントにより、賑わいの創出・クリエイション空間を創出。

【次の課題】
自主活動を軸とした体験型イベントの企画

【事業の仕組み】

【企業との協働によるパークマネジメントの事業化】

【企業との協働によるパークマネジメントの事業化】

【企業との協働によるパークマネジメントの事業化】

出典：都市公園のストック効果向上に向けた手引き（国土交通省都市局公園緑地・景観課 平成28年5月）

社会変化 行政による社会実験実施の増加

・インフラ整備など施策を本格的に導入する前に、**場所や期間を限定して地域の方々とともに試行する「社会実験」**を行うことが多くなっている。小さくはじめることで、新たな施策の課題や効果などを本格導入の前に把握することができ、新たな施策の展開と円滑に事業を執行する助けとなっている。

【「御堂筋にぎわい創出社会実験」の様子】

<休憩スペース>

<飲食店舗>



① 実施日時
 新大阪3交差点～平野町3交差点間（東側側道及び歩道）



② 実施期間
 10月9日（木）～11日（日）の各日11時～22時
 （10月9日（木）05:00～22時）

※台風19号接近による影響を考慮、下記日時は実施を中止
 10月12日（日）11時～16時
 10月13日（月）無休

③ 実施内容
 実施期間中は、社会実験の一環として道路情報を告知したさまざまなイベントが実施される予定です。